

科目No. T1 科目名(単元名) 在宅看護総論 I	配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 長井 理治		
テーマと授業目標 1.訪問看護の対象者とその家族を理解し、在宅看護を学ぶ 2.訪問看護を取り巻く制度や社資源を理解する 3.訪問看護師の役割とこれから求められることについて理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	長井	在宅看護の目的と特性	講義
2	2	長井	社会資源の活用	講義
3	2	長井	継続看護	講義
4	2	長井	多職種連携	講義
5	2	長井	多職種連携	講義
6	2	長井	海外における訪問看護	講義
7	2	長井	訪問看護師に求められること 精神科と訪問看護	講義
8	1	長井	精神科と訪問看護：まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	終講試験			
科目アピールポイント	在宅看護の目的・対象・特性・変遷を知り、在宅看護の機能について、在宅での訪問看護を実践する経験から学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名:	出版元			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名	出版元			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目No. T2 科目名(単元名) 在宅看護総論Ⅱ	配当時期 2年前期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 森 由紀		
テーマと授業目標 在宅における医療・保健・福祉制度、多職種と協働することや対象者の生活を支える活動を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	地域包括ケアシステムについて	講義
2	2	森	訪問看護について	講義
3	2	森	在宅看護にかかわる制度について	講義
4	2	森	訪問看護ステーションの利用について	講義
5	2	森	ケアマネジメントと社会資源の利用 ケアプランと訪問看護	講義
6	2	森	多職種連携・継続看護の必要性	講義
7	2	森	在宅看護過程の展開	講義・演習
8	1	森	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	終講試験			
科目アピールポイント	在宅における医療・保健・福祉制度や他職種と協働することや対象者の生活を支える活動について、在宅での訪問看護を実践する経験から学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 在宅看護論	出版元 医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名	出版元			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目No. T3 科目名(单元名) 在宅看護基本技術論	配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 宮本 真弓		
テーマと授業目標 基礎看護技術を統合し、生活の場で対象に必要な看護を実践するための知識・技術・態度について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	地域在宅看護論2 地域における暮らしを支える看護実践 環境調整 活動 休息	講義
2	2	宮本	地域における暮らしを支える看護実践 食生活・排泄・清潔	講義
3	2	宮本	排泄に関する地域・在宅看護技術 清潔・衣生活・地域、在宅における時期別看護	講義
4	2	宮本	呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術 COPDの療養者の事例展開	講義
5	2	宮本	脳卒中の療養者の事例展開 創傷管理に関する地域在宅看護技術	講義
6	2	宮本	パーキンソン病の療養者の事例展開 ALS療養者の事例展開	講義
7	2	宮本	統合失調症の療養者の事例展開 認知症高齢者の事例展開	講義
8	1	宮本	癌終末期の療養者の事例展開	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	終講試験			
科目アピールポイント	在宅における対象者の看護に必要な知識・技術について、在宅での訪問看護を実践する経験から学ぶことができる。			
使用図書(テキスト)	出版元 図書名：新版在宅看護論 木下由美子編著 医歯薬出版 訪問看護研修ステップⅡ(対象別看護 難病 終末期 認知症 小児 慢性疾患) 訪問看護と介護の雑誌 在宅看護技術 その手順と教育支援 厚生労働省 統計資料 緩和医療学 イラストで見る診る見る在宅看護			
使用予定の視聴覚機器	(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()			

科目No. T4 科目名(単元名) 在宅看護実践論	配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤原 綾子		
テーマと授業目標 在宅で療養している対象者の事例を通して、在宅での看護過程の展開が実施できる用学習する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	在宅実践論のガイダンス 在宅での看護過程の展開の特徴を理解する	講義
2	2	藤原	事例の情報を情報用紙に振り分ける	講義
3	2	藤原	5つの視点のアセスメント(1.健康状態のまとめ 2.日常生活 3.精神状態 4.家族介護者の介護能力 5.社会資源の活用)	講義
4	2	藤原	1.健康状態のまとめ発表 残りのパターンについて分析 グループワーク	講義 グループワーク
5	2	藤原	看護計画の実施(演習)	講義・演習
6	2	藤原	技術試験	試験
7	2	藤原	技術試験	試験
8	1	藤原	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	看護過程展開の記録および課題 50点 技術試験 50点			
科目アピールポイント	在宅で療養しているペーパーバイシエントの看護過程の展開技術に必要な基礎知識と基本技術とその実践を、在宅看護の臨床経験で学んだ教員から学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 統合 在宅看護論	出版元 医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: よくわかる在宅看護論改訂第2版 角田直枝 関連図で理解する 在宅看護過程 正野 逸子ら	出版元 学研 メジカルフレンド社			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目No. T5 科目名(単元名) 看護研究 (研究概説)	配当時期 3年前期 単位数 1単位(45時間中) 時間数 20時間	担当者 高梨 早苗		
テーマと授業目標 看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	高梨	オリエンテーション 看護研究とは	講義
2	2	高梨	研究のプロセスとリサーチクエスチョン①	講義
3	2	高梨	文献レビュー①	講義
4	2	高梨	文献レビュー②	講義
5	2	高梨	リサーチクエスチョン②	講義
6	2	高梨	研究の種類と特徴	講義
7	2	高梨	研究デザインと分析①	講義
8	2	高梨	研究デザインと分析②	講義
9	2	高梨	研究における倫理的配慮	講義
10	2	高梨	研究計画書の書き方	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	課題30% 終講試験70% (45点配点)			
科目アピールポイント	研究は疑問を持つことから始まります。一緒に疑問を解決する方法を考えていきましょう。疑問に向き合うためには、主体的な行動が必要です。授業も主体的に参加しましょう。			
使用図書(テキスト) 図書名: 別巻 看護研究	出版元 医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:	出版元			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(書画カメラ)				

科目No. T5 科目名(単元名) 看護研究	配当時期 3年全期 単位数 1単位(45時間) 時間数 25時間	担当者 深井 博文		
テーマと授業目標 1.実習における看護実践を振り返り文章化できる 2.理論家が述べる看護について学習し、要旨を文章化できる 3.自分の看護実践と、まとめた看護理論の要旨についてを統合し、論文作成ができる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	ガイダンス 著名な理論家の看護のメタパラダイム調べ	講義・演習
2	2	深井	著名な理論家の看護のメタパラダイム調べ 文献学習	講義・演習
3	2	深井	看護をまとめる1 (患者の健康状態 生活状況 看護上の問題と看護目標)を指定フォーマットに写す	講義・演習
4	2	深井	看護をまとめる2 (生活状況 看護上の問題と看護目標 看護計画の実施と評価)を指定フォーマットに写す	講義・演習
5	2	深井	看護をまとめる3 (看護上の問題と看護目標 看護計画の実施と評価 看護要約の見直し)を指定フォーマットに写す	講義・演習
6	2	深井	看護をまとめる4 (事例紹介とその経過 患者の健康状態)をまとめる	講義・演習
7	2	深井	看護をまとめる5 (看護上の問題点と看護目標)をまとめる	講義・演習
8	2	深井	看護をまとめる6 (計画の実施と評価)をまとめる	講義・演習
9	2	深井	看護をまとめる7 (私の考える看護 小論文作成 考察をまとめる)	講義・演習
10	2	深井	看護をまとめる8 (私の考える看護 小論文作成 考察をまとめる)	講義・演習
11	2	深井	看護をまとめる9 (私の考える看護 小論文作成 文章推敲 考察をまとめる)	講義・演習
12	2	深井	看護をまとめる10 (私の考える看護 小論文作成 「終わりに」 「はじめに」をまとめる)	講義・演習
13	1	深井	看護をまとめる11 (私の考える看護 小論文完成「はじめに」をまとめる)	講義・演習
14				
15				
評価方法	レポート提出 55点			
科目アピールポイント	実践した看護を振り返り、ケーススタディとしてまとめることを、教員の経験から自省できる指導をすることで、自己の看護について振り返ることの学びができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 川村佐和子編 ナーシンググラフィカ基礎看護学④看護研究	出版元 メディカ出版			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: わかりやすいケーススタディの進め方 看護理論家とその業績	出版元 照林社 医学書院			
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目No. T6 科目名(单元名) 感染看護論	配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤本 憲明		
テーマと授業目標 看護における重要な感染予防対策 目標 看護業務における感染予防対策や法律に関する知識を習得できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤本	感染対策の必要性	講義
2	2	藤本	標準予防策・感染経路別予防策	講義
3	2	藤本	洗浄・消毒・滅菌 感染症法	講義
4	2	藤本	予防接種法 職業感染症防止	講義
5	2	藤本	感染症別看護	講義
6	2	藤本	感染症別看護	講義
7	1	藤本	感染症別看護	講義
8	2	藤本	医療関連感染症	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	終講試験			
科目アピールポイント	感染に関する看護の役割と機能を学び、感染管理について、認定看護師から感染の動向や感染防止の技術や対策など、より専門的に学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 国民衛生の動向	出版元 厚生労働統計評価			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 微生物・薬理学の教科書 看護学生・新人のための看護ケアに生かす感染対策ガイド第2版	出版元 診断と治療社			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目No. T7 科目名(単元名) 災害看護論	配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 山上 富子		
テーマと授業目標 災害の種類と被害、疾患の特徴などの基礎知識を理解する 災害サイクルの各期における具体的な看護活動を理解する 災害時のストレスについて理解する 被災地での看護活動について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	災害医療の基礎知識 (災害の定義、災害の種類と健康障害) 災害医療の特徴 災害と情報	講義
2	2	山上	被災者特性に応じた災害看護の展開	講義
3	2	山上	災害医療の基礎知識 (災害看護の対象と特徴)	講義
4	2	山上	災害医療の基礎知識 (災害サイクル)	講義
5	2	山上	急性期の災害医療・災害看護活動(観察と応急処置・観察の方法)	講義
6	2	山上	亜急性期、慢性期の災害医療(被災地での看護活動)	講義
7	3	山上	災害と心のケア	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	受講態度・筆記試験			
科目アピールポイント	災害看護の定義と分類や看護の果たす役割を知り、災害前後の看護の看護活動に必要な知識とぎじゅつ、他職種との連携など、救急の臨床での経験を踏まえて、より分かりやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト) 図書名: 災害看護学・国際看護学	出版元 医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:	出版元			
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目No. T8 科目名(单元名) 災害看護論	配当時期 3年前期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 太田 和江		
テーマと授業目標 テーマ:チーム・組織の一員として活動する看護職に必須である「マネジメント」は看護の質を保ち看護を提供することが出来ることを知る 学習目標:看護管理の考え方、とらえ方が理解できる。組織マネジメント、キャリアマネジメント、ケアマネジメント、サービスマネジメントについて理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	太田	看護管理概論:看護管理におけるマネジメントの考え方の変遷	講義
2	2	太田	看護ケアマネジメント(権利の尊重 安全管理)	講義
3	2	太田	日常業務のマネジメント(チーム医療 業務のマネジメント)	講義
4	2	太田	多重課題における業務のアセスメント (患者の権利尊重 安全管理 チーム医療)	講義
5	2	太田	看護職のキャリアマネジメント (キャリア形成と専門職としての在り方)	講義
6	3	太田	看護サービスマネジメント1 (看護組織マネージメント 看護ケア提供システム 人材マネジメント)	講義
7	2	太田	看護サービスマネジメント2 (物品、施設、情報のマネジメント マネジメントに必要な知識と技術)	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法	終講試験 授業参加度			
科目アピールポイント	あらゆる場で看護職者が自らの役割を果たし、機能を発揮するために必要となる看護管理の基本的知識・技術について、臨床の現場と看護教員としての経験を活かし、あらゆる看護マネジメントの必要性をより具体的に学ぶことができる。			
使用図書(テキスト)	図書名:系統看護学講座 看護管理	出版元	医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)	図書名:	出版元		
使用予定の視聴覚機器	パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(DVD)			

科目No. T9 科目名(单元名) 臨床看護の実践	配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藪本 喜代		
テーマと授業目標 1.原理原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術を安全に実践できる 1)対象者の状況から異変に気づき、速やかにアセスメントし、対象者の状況に応じた援助を見出すことができる 2)急変時の状況をアセスメントし、対象者を安全に守る看護技術を実践することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	1.臨床看護の実践のねらい 2.シミュレーション学習について	講義・演習
2	2	藪本	シミュレーション学習 「病床環境を整える」 (ベッドメイキングと寝衣交換)	講義・演習
3	2	藪本	シミュレーション学習 「治療処置を受けている患者の看護」 臥床患者の観察 肺炎にある患者の観察とコミュニケーション	講義・演習
4	2	藪本	シミュレーション学習 「治療処置を受けている患者の看護」 バイタルサイン測定・輸液療法を受けている患者の寝衣交換	講義・演習
5	2	藪本	シミュレーション学習 「治療処置を受けている患者の看護」 移動の援助：輸液療法・膀胱留置カテーテルを挿入している患者	講義・演習
6	2	藪本	看護過程展開の技術 「虫垂炎患者の看護」患者アセスメント	講義・演習
7	2	藪本	看護過程展開の技術 看護実践の発表 「虫垂炎患者の看護」看護計画と看護場面の抽出(シナリオ作成)	講義・演習
8	2	藪本	「経過別看護」 発熱で入院となった患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
9	2	藪本	「経過別看護」 低血糖症状出現時の患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
10	2	藪本	「突然起こる問題に対する患者の看護」 転倒転落の危険性のある患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
11	2	藪本	「突然起こる問題に対する患者の看護」興奮する患者のアセスメントと看護の実施 意識障害の危険性のある患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
12	2	藪本	「急変時の患者の看護」 吐血の危険性にある患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
13	2	藪本	「急変時の患者の看護」夜間急変する患者のアセスメントと看護 意識障害の危険性にある患者のアセスメントと看護の実施	講義・演習
14	2	藪本	技術試験	試験
15	2	藪本	技術試験	試験
評価方法	技術試験(80点) 筆記試験(20点)			
科目アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの既習の知識としての解剖生理学・病態生理・検査・治療を統合できるようにする ・その場の状況を予測し、対象者に必要な看護を主体的に学ぶ ・実践後のリフレクションによって、課題を見出し次の計画を考え実践できるようにする ・シミュレーションなどでは、実際の場面を想定しながら学習に取り組む ・グループワークを行う場合、お互いに協力し意見尊重する 			
使用図書(テキスト)	図書名：解剖生理学、病理学、基礎看護技術 各系統別看護テキスト・臨床外科看護総論			出版元 医学書院
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)	図書名：目で見える体のメカニズム			出版元
使用予定の視聴覚機器	(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()			